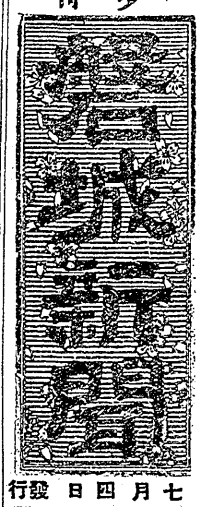
夕刊
七月四日發行
定價 一部金六拾五錢 月極金一圓 廣告料 一段金九拾錢 二段金一圓八拾錢 三段金二圓七拾錢 四段金三圓六拾錢
磐城新聞社
東京振替口座一〇六五五八番
（日曜祭日翌日休刊）



私のページ（上）

河越百代

——貴女は御生れがいゝりである。河豚が來さへすれば親子喧嘩がはじまるのにも拘はらずたべものゝ事をよく云はれますね——と、或る時或る方から揶揄された。お生れはよくつても御育ちが惡かつた所以であらう。とまれ私はたべもの話をするのが何より好きである。だからたべものに就いては實に敏感で食べさへすればいゝ主義の人に接するとそのでなかつたら、私はどんなにも春を夏を秋を冬を恢ちはしないであらう。自然私は御料理をこさへるのも大好きであるが、唯困つたことには時どして、ちつとも歌をつくり度くないやうに、ちつとも御勝手に出たくない時がある。私の愛しさへ瞬間怖氣をふるふ位まぐれには私自身些か困つてしまふのである。

私の珍らしいもの好き、イカモノ喰ひは相當有名であるから藏くことが出來ない。然し作ら私のイカモノ喰ひは別段どりたてゝいふ程のものでなく唯あんなとして比較的貧慾に何でもいたく程度である。その證據には緋鯉の煮付やイナゴの佃煮しさへ瞬間怖氣をふるふ位だから——。

この冬もとう〳〵河豚をたべないでしまつた。すべてものを生命を果てるといふことは實に下品なことだと家人おいふのであるが、然し河豚は生命をとられるとに思つて見たこともなく、たべさせられないものだから徒らに食慾がつのるばかりである。河豚は何といつても鹽燒にレモン酢をふりかけていただくのが一等おいしいやうだ。またフライ等にして饗されるとあたら勿つて体ないことかなと人事作ら氣がもめる。これから又野菜サラダや貝燒きのたのしい季節になる。野菜サラダつたに胡瓜が無いとサラダの味がしない程、私は胡瓜が好きである。暑さにくた〳〵になつて向ふ夕食に鮎か貝燒きか胡瓜がないと憂鬱になる程である。このごろは年の所以か魚肉より野菜の方が身体にも合ひ舌にも快く思はれ出した。

あゝ昌子

晩霞生

○みづからは稀行く店ゆ亡にし子の菓子をぞ買へる　五七日の朝

○汝が靈と茶を汲みにつつま淋しく汝をしぬび居り　五七日の朝

鮎い私にとつて大きい魅惑である。鮎は何といつても鹽燒にレモン酢をふりかけていただくのが一等おいしいやうだ。またフライ等にして饗されるとあたら勿つて体ないことかなと人事作ら氣がもめる。これから又野菜サラダや貝燒きのたのしい季節になる。野菜サラダつたに胡瓜が無いとサラダの味がしない程、私は胡瓜が好きである。暑さにくた〳〵になつて向ふ夕食に鮎か貝燒きか胡瓜がないと憂鬱になる程である。このごろは年の所以か魚肉より野菜の方が身体にも合ひ舌にも快く思はれ出した。

『まあ、詫てもらふなんてそんなこと……一體、何がお氣に召さないのです？先生、それから先にお話なす勿つて……』

『いや、氣に入るとか入らないとか……』

金四郎は、ちよつと口籠つた。

しかし、すぐとつゞけるその味。

『そんなことぢやない。たゞ、手を引いてくれと頼むだけなんだ』

『……』

お藥は、また默つてしまつた。

實際、彼女にとつて、金四郎のいふところは漠々となつてゐることを、感じ掴みどころがないのである。けれど、これが冗談ごとでないと、男自身がハッキリいつてゐるやうに、その態度にもうかがはれて、それは彼女にも解りはするが、そきいてもらひたいんだ』

『……』

『どうだらう？奥さん』

『一體、どういふのでございませうね』

お藥に、やつと口がきけた。

『先生が、急にそんなこと仰有るんだ……わたしに、なにが何だかわかりませんもとをとこの話は、先生の口から出たものなんだから……』

『だから、詫る』

『まあ、詫てもらふなんてそんなこと……一體、何がお氣に召さないのです？先生、それから先にお話なす勿つて……』

『いや、氣に入るとか入らないとか……』

金四郎は、ちよつと口籠つた。

しかし、すぐとつゞけるその味。

『そんなことぢやない。たゞ、手を引いてくれと頼むだけなんだ』

『……』

その償ひはするから……』

『待つて下さい。先生』

叫ぶやうに、お藥が、

『わかりませんどうして先生がそんなことを仰有るのか……。わたし、なんだかあの頭が、ボンヤリして來ましたわ。ねね、わけがごさんせう。その理由を、聞かしておくんなさい』

『わけも何も、そんな面倒なものはないんだ。頼む、頼むからさ……』

『あら』

いつぱいに眸を見開いて

『ほほほ、まるで、子供のやうぢやありませんか』

『子供？』

おうむ返しに呟いて、金四郎は唇を噛んでフッと脇を向いた。

金四郎は、いま笑つたお藥の言葉の中に、不意と涙を感じたのである。わけも分らぬ、自分が泣き出しさうなく、自分が泣き出しさうになつてゐることを、感じたのである。

『頼むからよ』

と、いよ〳〵聲もうるんでゐた。

『この無理だけは、默つてもらひてね。おれアれがわかればわかるほどま一生懸命なんだ』

『あ！』

お藥は、ギョッとしたやうに身をすくめた。金四郎のその、動作と聲から、すぐ胸に響いたものがあつたもこのことには、やはり何からだ。

『先生。わかりましたよ』

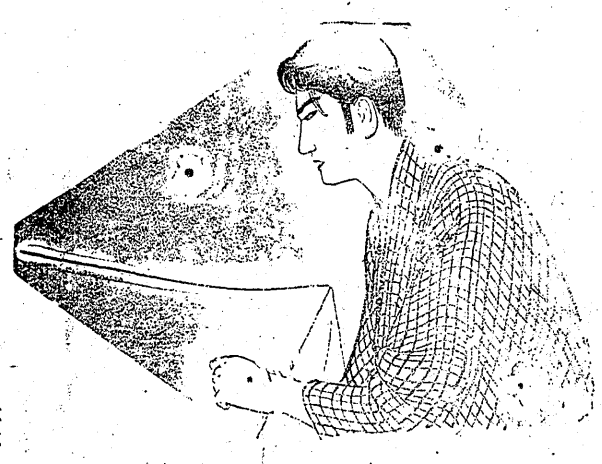
目があつたらう。だから

『ウ、では承知してくれるのか？』

『いゝえ、さうぢやありませんよ先生が何故急に、そんなことを切り出しなすつたかつて、そのわけがわかつたんです』

と、ニッコリして

『なぜ、惚れてゐるなら惚てゐるつて、仰有らないんです』



天氣豫報

今朝　北東の風晴
後曇
明日　北東の風曇
時々小雨

小名浜測候所報

賀平職業紹介所竣工

多事奈斯亜亜天須勤軍後陣遮壁
雪田爲立厚生策
廳舍新成施設委

△浦生君平發す
7月5日
——
（文化一〇）△新聞雜誌發行停止令出づ（明治九）△日滿伊蘭商協定調印成立△豪雨で阪神間の交通杜絶（昭和一三）

恩讐無道

（143）

久我莊多郎
香川三十代書

人の、響き

異人屋敷（十二）

講談

鳴海要吉

〇

年頃廿の處女の上に氣がひかれ、惱みがつづく林檎の木の下

が、金兵衛は笑はなかつた。そればかりか、異樣に光る目を、まつすぐにお藥の顔へ向けて、さつきよりは、ずッと眞劍な表情になつてゐた。

『冗談ごとぢやないんだ』

といつた言葉にも、切實なものが滲んでゐる。

お藥は、聲をのんだ。

『……』

『おれアそれを、御門さんに頼まうと思つて、やつて來たんだ。いろ〳〵考へてみたが、やつぱりこれア、話の無かつた昔と、アッサリ手を引いてもらひたいんだ』

『……』

『どうだらう？奥さん』

『一體、どういふのでございませうね』

お藥に、やつと口がきけた。

『先生が、急にそんなこと仰有るんだ……わたしに、なにが何だかわかりませんもとをとこの話は、先生の口から出たものなんだから……』

『だから、詫る』

萬病克服が何故保證出來るか

電氣の何倍もの力がある超短波也

故にゴムガラス等何んでも電氣の不導体を透す品なり、着物の上から使用しても骨肉中の病苦は征服出來る品なり。

高血壓が一回の放射で血壓が廿下つた。泣く程痛い虫歯が十分間で止つた。十八才の娘夜尿症が二回で治つた。入院して癒らなかつた中耳炎が卅一回の放射で全快した。夜中胃ケイレンで困つたのが一回で安眠出來たと云ふ體狀が餘り澤山なので新聞には書ゝないが、どんな難病でも癒らないと思はないで、實驗所で實驗して頂ければ自の魂で癒せる事が判つて頂けを確信致します。

適應症

婦人病　胃腸病
尿道病　肺病
糖尿病　ロクマチ
心臟病　肺炎
腎臟病　齒齦痛
中風　ロイマチ
高血壓　夜尿症
脚氣　痔疾
動脈硬化　カリエス
ゼンソク　ルイレキ
百日セキ　ヒステリ

其の他慢性急性諸病

超短波放射快癒機自の魂販賣と修理

自の魂平實驗所

平研町公園下（電呼）六五二

酒トマヅイ　たでんの　榮ちゃん

平市田町花ノ里
電話三三番

第一線の

慰問品ニハ

見不知羊羹と潮の華

平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八

專門藥

りん病　こしけ

岩里別府淋藥　一週間分參圓（黑）五圓（赤）

痛みある病。熱ある病

岩里別府散　七包入　十五包入　五十錢　壹圓

製藥本舗　別府市　岩里天然堂

平市古鍛冶町一〇

代理店　阿康藥局

電話四十四番

振替東京三〇〇六五番

磐城の御みやげ品

名物　靈峰羊かん（名産柿煉）

姉妹品　磐城耶馬溪……美山羊羹
同　七濱……のり羊羹
同　豐間……辨天羊羹

◎各種　一本十錢

小川郷驛前

製造發賣元　平屋賣店

此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計るべく社員一同努力仕るべく候間倍舊の御引立を御願申上候

鐵棒、平鐵、しやふと
鐵管、各種レール類

新品中古入荷仕り候間精々御注文相願度尙諸機械類各種取揃へ御來覽を御待申上候。

敬具

海軍工廠御用達

KS 合資會社 平銅鐵機械商會

平市鍛冶町九〔電話五二二番〕
電略（イ）又ハ（イ七）
振替東京一五七五二二番
倉庫 平市鍛冶町卅三番地 平市鍛冶町九番地

產婦人科

牛坂醫院

平市田町　電五五九

最新流行の

下駄と草履

ドコヨリモ安い　三井履物店

平南町　電話一八一番

國民精神總動員……

日本國民必見の書……

內閣情報部發行

寫眞週報

（1部10セン）

……お取次致して居ります……

（平2）西村藥局（電3）

一般貨物運搬

迅速低廉に御取扱ひ致します、

福好工業合資會社

代表者　强口唯七郎

自動車部

電話二八二番

砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

國は日本水產特約　ニッポン・魚は凍魚

卸小賣　平製氷會社

（電二三八・三三）

タ　ヒ　甘　鯛
エ　ビ　マ　ナ　鰹
白　魚　帆立貝柱
冷カツノコ　ウニ貝燒

ヒノマル凍魚

平代理店　四丁目　魚河岸

配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

前田醫院

植田町本町　電話一二四番

◆內科、小兒科　院長　前田清美
◆外科（外科一般、內臟外科）
◆花柳病科　副院長　野村武一
◆X光線科（新設）
◆物療科（手術室入院室完備）

これは便利！

△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる

美マルミ粉末石鹼

製造元　平市材木町一一

メガネ專門の店

メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい……

平市本町二丁目　玉屋

享樂方面の自肅要望

前線の勞苦を偲べ――と

記念日を前に通牒

七日の事變滿二周年記念日を迎へるに際し平署では縣からの通牒に基き出征將士の勞苦を偲ぶと共に英靈に對し感謝を捧げ聖戰の目的達成を念願する見地より記念日を有意義に送迎すべく花柳界、興行、遊戯場等の率先自覺を促すことゝなつた

一、料理店及び飲食店はなるべく休業し、記念日に相應しき行事を行ふこと

一、休業せざる場合は午後八時限り閉店のこと

一、歌舞音樂、蓄音機等を遠慮すること

一、映畫館は時局下に相應しきものを上映の事

一、演劇は日本精神を強調する戰爭美談及び銃後美談を主とすること

一、遊戯場は午後七時閉店のこと

野庄九郎、飯野森山豊次同横田正夫、夏弁坂本登高久箱崎三郎、同鈴木庄佐、豊間菊地晴雄、鹿島三嶋五一郎　小名濱樋口速、小名濱長瀬國三郎、同小泉玉川遠藤喜三郎、同小泉忠文、磐崎箱崎權重郎、同中村敬二、湯本仲里顯同太郎、同鯨岡一馬、内郷山崎千朝、同長澤文司、好間金成淺治、同中村益平、永戸組合渡邊左藁、草野芳賀辨之助、同北郷邦滿、四倉長谷川辰次郎小川草野勇、同櫛田政松郡農會技手柴田武雄

第三で慰問袋　平第

三小學校尋五ノ一生徒一同で慰問袋七個をつくり市役所寄託

神社に武運祈願

當日藝妓屋、鎌田遊廓で

七日の事變記念日を前に平成講習會をこの十日から舊暦では四日午前十時から管平商校舍で開始するがこの内料理、藝妓屋兩組合役員を集め當日の實施事項を協議したが平藝妓屋組合では既報の如くこの日は一齊に自肅休業をなし藝妓衆が打揃つて縣社子鍬倉神社に前線勇士の武運を祈願後谷口樓で日の丸弁當を食べながら野崎滿藏、廿佐三郎兩氏を囲み視察實戰座談會を開く

○

鎌田遊廓組合でもこの日を有意義に送らうと娼妓連が飯野村北白土八幡神社に將兵の武運長久を祈り終つて組合長檜山忠太郎氏（住彰吉樓）方で平署幹部の時局談を聴く

各種職業實習

平紹介所で計畫

平職業紹介所では夏季施設の一つとして既報の如く軍需工場賣り込みの製圖工養

農會役職員表彰

石城郡農會では五日午後一時から平國体事務所に優良町村農會役職員表彰式を擧行

泉上遠野定次郎、同星野七郎、渡邊橋本勳、植田鈴木彌一郎、同赤津平男山田佐川朗、同松崎二郎錦根本金兵衛、同小松茂勿來大平睦四郎、同櫛田龜吉、上遠野永瀬幸太郎同渡部庄藏、入遠野上遠

あす戸數割本會議

昨報、平市の十四年度特別の特別委員によつて檢討し戸數割本員會はきのふ一日きりで終了、賦課額五十一千八百二十五圓六十二錢圓以上の分は今四日の修正を見た、よつて市では明五日午後一時から本會（東部）大谷、多田井（西部）川崎、吉村（北部）酒井、金古（中部）萩原、吉田（舊平區）松崎、松本議を開き賦課額を決定することゝなつた

商組連絡緊密化

明後日市公會堂で

各方面代表會議

商業組合中央會本縣支部では戰時下に於ける商業組合の重要性に鑑み各商業組合の聯絡を緊密にし時局に一層貢献するため六日午後一時から平市公會堂に商業組合の代表者會議を開くことになつた、出席者は組合理事長常務理事並に專任書記等で縣からは竹内商工課長森田主事、中山屬、佐藤主事補等が出席する

（協議事項）一、商業組合部會設置二、商業組合研究會設置三、商業報國、運動四、物價統制營業者協力委員會制度運用五、商業組合青年縣聯盟結成

（出席組合）平呉賀、平米穀主婦、魁文堂、大塚、マルトモ各連動具店後援の第八回關東北庭球大會は愈よ明五日が出場申込み期限で今朝中多數の參戰が決定するものと觀られてゐるが、現在の處既に日立、呉羽人絹、東北學院、入山、東京鐵道局、鐵道本省、東京魚市場頗る多彩な參加振り等は一入興味に拍車してゐるかたの儘都人士の食膳に上せられる場合が少く、縣の水産試驗場でも先年來罐詰として出して居るが固有の味ひが半ば失せて之が完成は今の處未決の問題とされてゐる

海水浴場

待機

鮏濱海岸ひらく

空があがつて

未だ梅雨もよいの日もあるが流石海のシーズンをあつ

酷暑下に覇を爭ふ

新鋭古剛數十組

關東北庭球愈よ迫る

地方庭球界の豪華試合として（略）ファン待望の石城軟球協會主催、魁文堂、大塚、マルトモ各連動具店後援の第八回關東北庭球大會は愈よ明五日が出場申込み期限で今朝中多數の參戰が決定するものと觀られてゐるが、現在の處既に日立、呉羽人絹、東北學

消印に興亞强調

來る記念日の平局

平局では來る七日を記念し左記により記念スタンプ押捺の需めに應ずると局の窓口に差出した料金完納の書狀並に通常端書及び往復端書にして裏面の全部又は大部分に繪畫寫真、書、圖、印影等を現出したるものゝ引受けに使用、尚は其の後六日間政府發行の郵便葉書並に記念の目的を以て二錢以上の郵便切手を貼付したる物件に對し消印の需に應ず

因にスタンプの圖案は北京天壇の祈年殿、耕作中の農夫及工場に勞作の職工を描き『東亞新秩序建設』の標語を挿入したる興亞の躍進を象徴せる新味横溢のものである

駒セリ成績

郡下の二才駒セリ賣は先づ上遠野市場から始められ昨日で終つたが出場頭數百二十頭相場最高四百九十五圓、最低八十圓でこの取引總額二萬三千二百八十七圓、一頭平均は昨年の百十七圓に比べ四割高の二百圓

珍味貝燒出廻る

今日あたりは一個十六錢

七月の産から生れる『海の幸』中、これこそ全く特産を誇るに足るウニの貝燒きとは他に求め得ぬ甘美さを以て各方面の味覺を喜ばせてゐるが今年も漸くその出廻り最盛期に入り豊凶によつてその日の値だんは違ふものの無い日の一個二十三錢位からズツと安く豊富な時には十六錢位の安價で買ふ事が出來る。都住ひの食ひ道楽が垂涎措かぬ珍味であるが比較的保存が面倒な爲に人手によつて運ぶ以外生

る。そこで貝燒の戸籍調べウニ（海膽）SEA-URCHINなどとも云ふ、動物學上、棘皮動物門の一綱に當る形態はムラサキウニ等普通のもんに就て云ふと、恰も栗のいがの樣に多數のトゲが生えて居り、棘を除き體表を蔽うて居る皮膚筋骨等を取り去ると堅固な殼が露出する。之の殼を破ると膜の樣に薄く破れ易い消化管と黄色を帶び放射狀に並んだ五個の生殖腺（卵巣又は精巣）とが眼につく貝燒の原料は實にこの生殖腺であるのだ。秦の方士徐福をして住らしめば、暴君始皇帝の難問に對しても左迄狼狽せず『不老不死』の妙藥として或は石城七濱に之を求め『之が一番です』と侑めた事でもあつたらう

心中体は邪戀清算

昨報、永の心中体は内郷村高坂ノコギリ鋸冶柴田重三郎（四二）双葉郡廣野村結城キクノ（二八）の邪戀の清算と判明

陣中を聴く

（428）

寸分の暇も與へず

畫夜兼行の猛追擊

長谷川鐵重君（通信）

元鍋嘉店員

御令息お兩ます（略）

お蔭樣にて私も大元氣で人も今はどちらに御出でゝす、先ゞ月の行動開始、約御座いますか一ケ月に亘る山岳戰、平地多分お變り無と違つて山を登つたり下つく國家の爲にたり、それに内地と異つて御奮闘の御模岩山許りにて危險なることと喜んで居り

相當に激しい戰ひが到る處に演ぜられて敵は天然自然に堅壘を絡つて頑强に抵抗致しました。

山岳戰ですから敵の間近に進むことが出來、相當なる損害を與へましたが油斷は出來ません。何處から彈

が來るか判らず、それに迫擊砲やら山砲彈が飛んで來て（略）今迄にない一番辛いお話になりませんでした。

戰闘でした。

第一陣地を突破して第二陣地と急激に息のつく暇も敵に與へず猛追擊をしますので夜になつても睡眠することが出來ず、緩くり食べられず一壺夜歩き通して二十數里等の日が幾度かありました。

丁度内地に於ての秋季演習の樣でこんなに疲勞した日は出來ません。何處から彈

山岳ですから到る處に敵が戰闘はありません。それに

が出る樣な事はありません。

（未完）

會長以下役員改選

八日郡農會臨時總會

石城郡農會臨時總會は八日午前十時から平國体事務所に開き任期滿了の會長、副會長、評議員八名の改選を行ふ

現役員は一昨年平市制實施に伴ふ郡市農會の分離からその殘任期間を選ばれたもので會長鷲清鼻、副會長金成淺治兩氏の再選が有力であると

平市慶弔錄

○婚姻　長橋町長島勇雄氏（三七）鹿匠町鈴木フサさん（三三）、長橋町齊藤以知郎氏（四八）東京府北多摩郡武野町吉村ますさん（四四）

▲死亡　大工町菊地惣藏氏（六六）、舊城跡尾形和子ちやん（六）本籍鹿匠町東京市日本橋區室町四丁目大橋きゑさん（七八）

五日

【小名濱側候所觀測】

潮汐　滿三、四五　干潮前一〇、五〇　後五、三五　干潮後一〇、五五

舊五月十九日	水曜
癸卯	新七月
大安	五日
壁宿	

▲一白　何事も先走らず長者の後より行け引立らる▲二黑　氣の落付かざる日人のさそびに乘は危險なり▲三碧　突風の中を飛行する如き日油斷する事勿れ▲四綠　古き世話事よりもつれを生じ來る日萬般注意▲五黄　運氣平穩なり但し新規の商事は見合すべし▲六白　氣移りの仕安き日新しき事は凡て見合べし▲七赤　出ること少くして入る事の多き大吉日たり▲八白　慶事を行ふにけ尤も吉き日旅行建築も無事▲九紫　依頼心を去りて自主の氣を專らとすべき日

家庭料理

平保健所榮養指導員　田　君子

けふの献立

成

鰯フライ、キャベツ、トマト

鰯　五〇瓦大二尾

メリケン粉三茶匙一杯位

卵　五　十分の一ケ

パン粉一〇　大匙山一杯

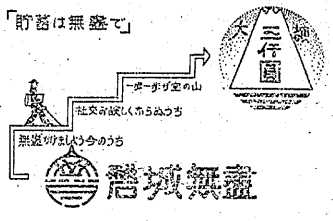
油　八

キャベツ、トマト

計蛋白質一一、二瓦

溫量二〇二カロリー

（調理法）鰯は大骨及わたを抜き鹽、胡椒で味をつけ、メリケン粉、卵の水溶、パン粉の順に衣をつけて油で揚げる、キャベツ、トマトは適宜に切り付合せる



重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
眼鏡檢定　醫師　重田景治
平市田町一番地

おでん、やき鳥
小鳥燒も初めました。
お酒のあとに
おけさめし
平市三田小路（三丁目裏）
おでん　菜めし　酒の家　味郷

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお留めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木政
内郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

開店披露
たてん　お多幸
小料理
しうまい、ころつけ
た多幸のみつ豆
本日より開店いたしました。
どうぞ御贔負を御願ひいたします。
平市田町末炭醫り
お多幸

書診
外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
血液檢査毎日
◎入院隨時
平市新川町（電四六四）
醫學士　北川芳夫
夜療

夏もの洋品の一色
晴雨兼用傘　二重張洋傘　と
豐富陳列
夏帽子　婦人、子供清涼衣　と
ヤルツ　電一四〇

外科、内臓外科
エックス光線科
産婦人科
院長　安齊徹
醫學士　黒澤廣
平市田町
人院隨意
安齊醫院
電話四七五番